



す。しかし、それでは味も何だかわからないし、匂いや食感も決して食欲をそそるものではありません。そんな時にこんなコンテストがあるのですから驚きです。

今回が第一回なので僕もどのようなものが集まるのか興味津々です。「嚥下食Ⅱまずい」では食べる喜びも半減です。ぜひ、美味しい嚥下食が集まり、必要な方に還元できるような企画になるといいですね。

### むし歯を治す？

うちの診療室で一番答えづらい質問は、「むし歯はありますか？」とい

うものです。もちろん、むし歯があるかどうかわからないということではありません。むし歯であっても処置しない方が良いものがあるということとです。

実は、古今東西、歴史上むし歯を治した人はいません。「？」という感じですか？むし歯を治すというのは、むし歯の穴が元通り自分の歯の質で回復するということを言います。そんなことができれば金属やプラスチックなど使わなくて良いのです。つまり、現在歯科で行われている処置はむし歯の原因となる層を削り取り、代償として他の素材で歯の形に戻しているだけなのです。

さて、なぜむし歯の有無を答えづらいのか。それは皆さんの頭の中で「むし歯Ⅱ治療」という固定観念があるからです。もし、むし歯を治すこ

とができるのであれば、早期発見早期治療だけ考えればよいのですぐに治療します。しかし、実際は歯の破壊行為をして修復するということとです。それだけの破壊行為とむし歯の重症度との比較が必要になるのです。初期で小さなむし歯を修復するために、体積的には数百倍、数千倍の自分の歯を削ることになり、そこにメリツトがあるかどうかの判断が必要になるのです。

僕が研修医時代教わった先生はとも手が器用で削り方も美しいものでした。しかし、むし歯が少しでもあるとどんどん削っていく姿を見て「これはついていけない」と思いました。もちろん良い悪いではなく考え方です。と言うことで、うちでは極力削らないで済む方向を考えています。